

しずくしい 議会だより

No.87
2013. 10
編集 議会広報編集特別委員会



○今号の主な内容

特集 8・9豪雨災害…2～3

9月定例会のあらまし…4～5

決算特別委員会／討論…6～9

町当局への意見提言／監査意見…10

9月定例会採決結果一覧…11

臨時会…12

委員会新構成表…13

町の考えをただす

一般質問 8議員が登壇…14～21

皆さんからのご意見／ふるさとへの便り(53) …22～23

○今号の表紙／まちの笑顔シリーズ
「上長山小学校放課後児童クラブ」



特集

8・9 豪雨災害



— 豪雨災害対策調査特別委員会を設置 —
(緊急復旧への取り組みを急げ)



8月9日の豪雨災害は国の激甚災害指定の決定を受ける被害となった。当議会では8月15日に町内の被害状況調査を実施し、復旧に向けて緊急の取り組みが不可欠なことから、8月26日の臨時会において議員発議で、豪雨災害対策調査特別委員会の設置を決定した（委員長は石亀副議長）。

被害の推計額は、10月4日現在で約66億円を超えた。国の災害査定が早くても10月中旬から11月上旬と予定されているが、議会では早期復旧の実現に向け取り組むこととしている。

軽米町、岩手町へ豪雨災害対策調査特別委員会視察（10月7日）

●軽米町

平成11年10月に、200年に一度といわれる集中豪雨に襲われました。町を貫流する雪谷川全域が氾濫したことにより、中心部に甚大な被害を受けた状況や、対策調査特別委員会の設置、災害復興の取り組みや対策等の説明を受けました。

河川の復旧に関しては、国からの災害復旧事業費が交付され、県の河川事業と合わせて2つの事業を行った。また残土を埋め立て、工業団地にするなど有効利用したそうです。



復旧現場を視察する委員



軽米町役場で説明を受ける委員

●岩手町訪問

平成22年7月の大雨で、横沢川全域にわたり護岸の崩壊や土砂の堆積、橋梁の流失など被害が集中し、土砂崩れや道路崩壊が20箇所以上発生したことなど当時の災害発生状況について説明を受けました。また、被害も大きいため3年経過した現在も工事が依然終了しておらず、事業の継続が予測されました。

「農業再生への支援要望」 猿子議長が林農林水産大臣に要請

猿子恵久議長は8月23日、林芳正農林水産大臣に対し、豪雨災害に対する要望書を提出し、農業被害に対する支援を求めました。

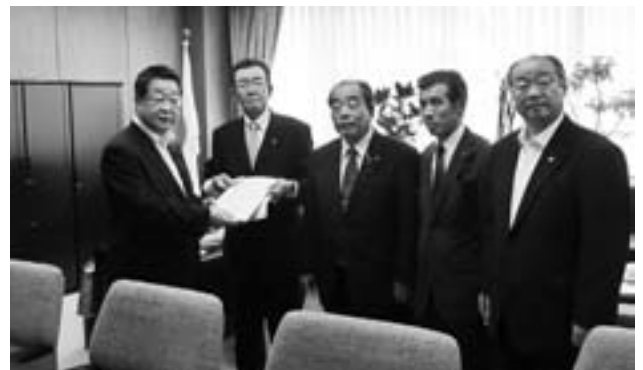
林大臣からは「激甚災害の指定を行い、最大限努力したい」との話がありました。今回の緊急要望は、当町の農林業再生に向けた早期復旧を求める議会活動として行いました。



林農林水産大臣に要望書を手渡す猿子議長

国に対し災害の 緊急要望活動を実施

10月2日から3日にかけて、当議会の猿子恵久議長が会長を務める岩手郡町村議会議長会が、岩手県選出の国會議員、自由民主党本部、国土交通省、農林水産省を訪問し、議員大会で決議した通常要望に加え、8月9日の豪雨災害に対する財政支援や復旧支援等について緊急要望を行いました。



吉川農林水産副大臣に要望書を手渡す猿子会長

9月定例会のあらまし

24年度決算を徹底審議し認定 豪雨災害復旧の補正予算を可決

平成25年度9月定例会は、9月6日から9月20日までの15日間の会期で行われました。

本定例会では報告が1件と認定案件が11件、条例制定等案件が2件、補正予算案件が10件（追加提案された豪雨災害復旧費計上補正予算5件を含む）、契約締結案件が1件、その他案件が4件あり、これらの計28件の案件は全て原案通り可決しました。

そのほかに、請願が1件と陳情2件があり、うち2件を採択し、これを発議によりそれぞれ意見書を国および県に提出しました。

一般質問は、8名が登壇し、豪雨災害の復旧・復興等についてたしました。

○主な質疑

問 全日本学生スキー選手権大会の開催会場はどこか。開催費を負担する団体は雫石町だけか。また、当初予算に計上しなかった理由は。

答 アルペン競技、クロスカントリー競技の会場は当町、ジャンプ、複合競技は八幡平市から会場を借りて行う予定だ。当町のみで実行委員会をつくって開催するので、負担金は当町と全日本学生スキー連盟で出すことになる。当町を主会場に実施すると決定したのは今年に入ってからとなったため、当初予算には間に合わなかった。



多額の負担金を必要とする大会だが町に恩恵は

条例の制定

○雫石町子ども・子育て会議条例の制定について

子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関し、必要な事項及び当該施設の実施状況を調査審議する機関の設置に係る条例を制定。

条例の一部改正

○雫石町工場等設置奨励条例の一部改正について

町内への企業誘致を推進し、町の産業振興及び雇用機会の拡大を図るため、工場等を設置した者に対する奨励金の交付要件を新設にあっては15人以上を5人以上に、増設にあっては5人以上を3人以上に緩和するもの。

一般会計補正予算（主なもの）

○一般会計補正予算（第7号）

補正前の額	補正額	計
88億4,135万6千円	2億7,933万4千円	91億2,069万0千円

- ▶しずくしいアグリリサイクルセンター加圧混練機部品更新工事 1,784万9千円
- ▶全日本学生スキー選手権大会開催負担金 2,649万0千円

○一般会計補正予算（第8号）

補正前の額	補正額	計
91億2,069万0千円	5億7,733万4千円	96億9,802万4千円

- ▶被災者生活再建支援金 1,150万0千円
- ▶農作物災害復旧対策事業費補助金 1,193万2千円
- ▶中小企業被災資産修繕事業費補助金 1,311万0千円
- ▶農地等小災害復旧工事 1億6,525万0千円
- ▶農地等小規模災害復旧事業費補助金 4,140万0千円
- ▶道路橋梁災害復旧工事（増） 1億1,650万0千円
- ▶河川災害復旧工事（増） 7,250万0千円

○主な質疑

問 今回の補正予算で災害復旧は、どの程度進むのか。

答 道路、橋梁、河川、林道の国の災害査定が10月中旬頃に、農地、農業用施設の査定は11月中旬頃に予定されている。査定後に大きな工事費が出てくるので、大部分がまだ残っている。

問 町単独の被災者生活再建支援策は。

答 被災者住宅再建支援事業として、全壊または大規模半壊された方が新しく家を新築や購入された場合最大100万円、さらに、被災住宅補修等支援事業として、最大30万円を補助する予定である。

■工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて

1. 工事概要 雫石町役場庁舎への太陽光発電設備等設置
2. 契約金額 4,842万6,000円
3. 工 期 平成26年3月14日まで
4. 請 負 者 株式会社 北岩手電工

◆反対討論（加藤眞純議員）

町内業者を優先するという町長方針にもかかわらず、入札にも参加させないのでは、育成も発展もできません。こんな簡単な太陽光発電の設置工事は金額に関係なく工事の内容によって入札参加業者を指名するべきである。雫石町入札契約制度改革検討委員会に第3者も入れて早急に活動するべきだ。

町内業者の育成と入札の経緯に対する町の配慮が不足しているので、反対する。

とうなりました 皆さんの請願・陳情

○請願第2号 私学教育を充実・発展させるための請願（採択）

提出者＝私学助成をすすめる岩手の会
会長 新妻 二男

○陳情第6号 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情（採択）

提出者＝全国森林環境税創設促進議員連盟
会長 板垣 一徳（新潟県村上市議会議長）

○陳情第7号 籬野地内生活道路の舗装に関する陳情書（不採択）

提出者＝籬野行政区長 濱田 潔 他13名

発 議

○発議第1号 私学教育の充実・発展を求める意見書の提出について

生徒一人当たりの教育費における公費負担額が公立学校と比べて低いことが、教育条件が改善されない大きな要因になっている。

よって、私立高校に対する私学助成金をさらに充実させることを求める。

提出先＝衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、岩手県知事

○発議第2号 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書の提出について

「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を強く求める。

提出先＝衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、環境大臣、経済産業大臣

静岡県富士市との友好都市提携について

雫石町と静岡県富士市が、これまで共に歩んできた歴史を次の世代に引き継ぎ、幅広い分野における両市町住民の交流がさらに促進され、関係をより緊密なものとする友好都市提携を、雫石町住民の総意として意思決定するため、議会の議決を求めるもの。

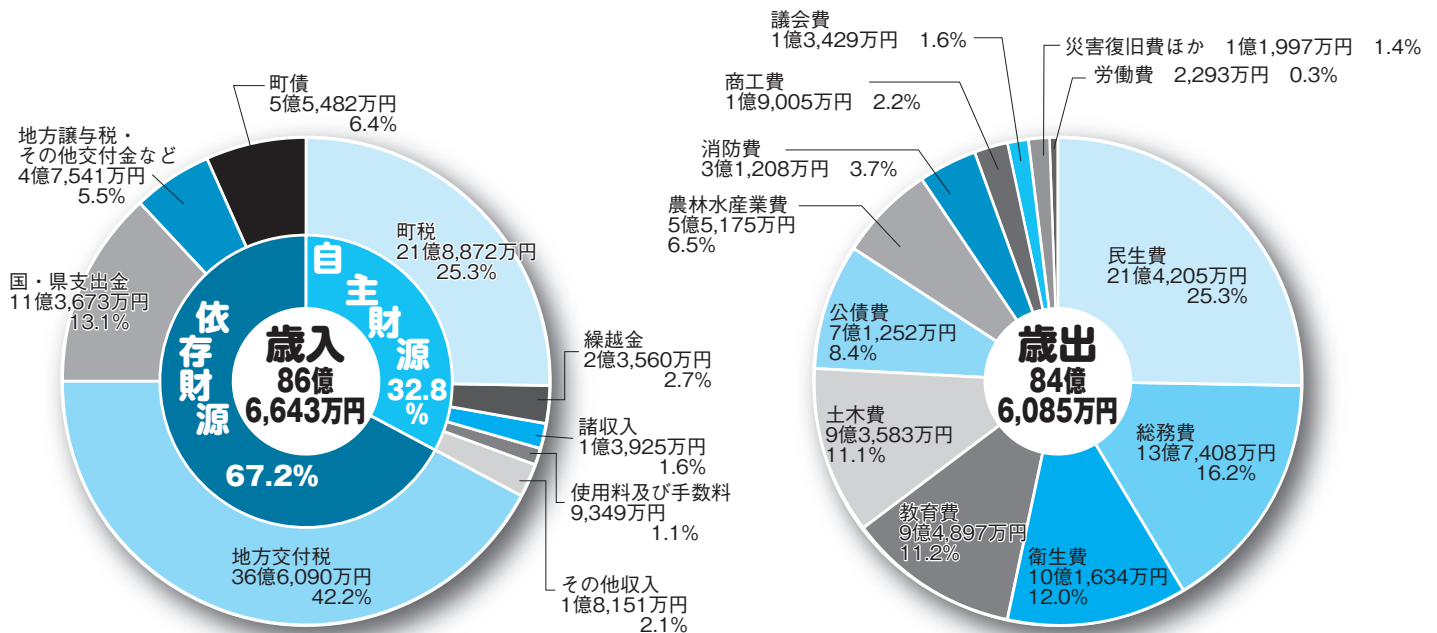


7月30日は災害時相互応援協定が締結されている

数字で見る決算

一般会計

歳入・歳出の内訳



歳入・総務費

問 所得税・固定資産税が減収だが今後の見込みは。
答 災害の減免や所得減で減収が見込まれる。

問 環境対策専門委員は、環境保護だけでなく廃屋なども含めた景観環境にも取り組むべきではないか。
答 環境保護に景観も含めた角度から、検討していく。

衛生費・民生費

問 患者輸送バスの老朽化対策は。
答 スクールバスを購入した際、従来のスクールバスを患者輸送バスに転用しローステップを設け1年間運行予定。その間に患者輸送路線の利便性を上げる輸送方法を検討していく。

問

あねっこバスやスクールバス、二次交通などを統合して町営バスにし、小学校統合後を見据えた学校区単位で NPO 等の法人を設け、そこに出資し委託することで雇用を創出して地域活性化につなげては。

答

すぐ結論を出せる課題ではないが、ほぼ 10 年経過した生活交通見直し等を含め総合的に検討していきたい。



生活交通体系も見直しの時期では

町民一人あたりの歳出金額

ワンポイント解説

民生費……主に高齢者、障害者、
子どもの福祉に使うお金



公債費……町債（町の借金）返済
に充てる経費



商工費……町内の商工業の支援や
観光振興などに使うお金



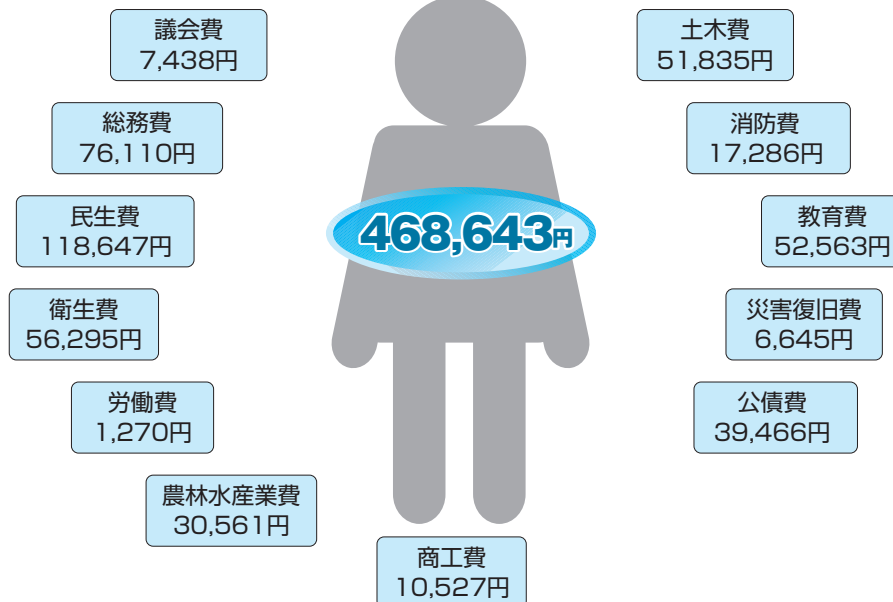
労働費……雇用対策や勤労者の支
援に使うお金



衛生費……健康づくりや環境対策、
ごみ処理などに使うお金



平成24年9月末
人口18,054人で試算



問 総合計画の医療福祉ネットワーク強化プロジェクトで、二次交通も含めて町内統合移動システムの検討が記されている。いつ具体的に検討するのか。

答 まだ着手してない。これから総合的に公共交通体系を検討していきたい。

問 当町の生産農業所得について調査しているか。

答 平成18年で、国の調査は終了した。農業関係調査費としては予算執行していないが、農産物の産出額調査を行った。

問 雫石で一番景観の良い生森山の頂上から360度の眺望が確保されていない。

答 「イーハトーブの風景地」として国の名勝に指定されているため、木を全部切ることは制限されている。間引きや山の下刈りに合せて視野を確保するようにしたい。

農林水産業費

問 パソコン教室は、自立できる農家を育てることが目的と思うが、教室の開催が目的化している。それは、手段のはずだが。

答 自立するということも大きな目標であるので、自宅でできるよう環境を整えるなど、今後一層努力していく。

問 今回の災害によりいわて型牧草地再生対策事業で、用意した資材等が流出したり、土地が荒れたり、被害は大きい。今後の対応は。

答 できるだけ事業を進めたい。岩手県の考え方は、途中まで作業が終わって、来年度また途中から継続しても事業として認めたいとのことであった。

牧草等の不足分には、早急に農家への支援に向け取り組む。



生森山山頂は絶景ポイントの一つ

問 町独自で雫石の農産物を加工する新たな商品の開発を研究できないか。

答 指導センターの専門指導員が中心になって取り組んでいるが、結果が見えていない。住民に見える形での取り組みも積極的にやっていかなければならない。

商工費

問 しずくいし観光協会補助金 2,893 万円は昨年度と比べると 993 万円増額となっている。財政援助団体等監査の結果の資料によると、年度内 5 回に分けて補助金が支出となっている。増額の理由とその回数は。

答 当初 1,500 万の 3 回支払いとしていたが、小岩井農場付近の案内看板 43 万円と 2 種旅行業登録補助として 1,350 万円の 2 回が増え、5 回支払いとなった。

問 国見保養園地において、災害被害の有無と昨年度の入場者数はどのくらいか。

答 施設への被害はなかったが、駐車場付近が崩れる被害があり 3 台ほどの駐車しかできない。利用者数は 2,154 名である。

問 国見温泉の奥に民間施設があり、その活力を増大させるためにも、そろそろ廃園にしてもいいのではないか。昨年は存続の検討をするという答弁があった。

答 湯量が適量確保できる間は存続したいが、2 階部分に損壊箇所もあり、現在は 1 階と風呂部分の営業だ。今後の営業方法を考えていく必要はある。

土木費

問 除雪業務委託料として約 1 億 1,300 万円の計上がある。700 万円ほど補正で減額したはずだが、減額の根拠は。

答 補正では 3 月末までの予測で予算を計上しているが、年度末の実績で最終的に除雪費用がかからなかったためである。



間もなくすれば今年も除雪の季節が

問 業務委託のガイドラインによる、透明性確保のため、NPO からはきちんと提出されているのか。

答 県作成の「NPO を対象に含む事業委託の手続の適正化に関するガイドライン」に基づき、収支の実績報告書を提出されている。しかし、より詳しい収支内容の報告は聞いていない。

教育費

問 町体育協会の公益財団法人への申請締め切りが 11 月 25 日となっているが間に合うか。

答 当初は公益財団法人を目指して準備を進めていた。税理士事務所では公益法人の資料をつくりながら、あわせて一般法人の資料も作成していたので、スムーズに進むと考えている。

問 学校のグラウンドで除草剤使用は安全か。

答 除草剤を使用する場合は子どもたちが近づけないようにし、十分に注意するよう指導している。

国民健康保険特別会計

問 不納欠損が昨年は 480 万円だが、24 年度は 880 万円と倍近いのはなぜか。

答 毎年の不納欠損には変動がある。時効があったり、納付できる状況ではなくて即時欠損という場合もある。

問

財源が足りないやと言うのは言い訳であり、いかにしたら徴収率を上げることができるか検討すべきである。

答

町行政を執行していく上で、財源としての税収の確保は当然必要なものであり、税務課に限らず協力して収納率の向上に努めていく。

問

国庫負担金 50% が国会で決議されている。これを履行させるよう国へ町村会等で要望すべきではないか。

答

町村会でも常に話題となり、膨大な枚数をもって要望している。

農業集落排水事業特別会計

問

農業集落排水の利用状況は人口で 48.8%、戸数で 56.4% であるが、こういう状況で債務を返済していかなければならない。なぜ接続率が向上しないか。

答

若い世帯が増えれば接続率は上がると思われるが、農業所得の伸び悩みと高齢化世帯が多くなっていることが要因と思われる。今後も接続率の向上に努めていく。

介護保険事業特別会計

問

要支援の部分で軽度なものは、国の補助金制度から外すという話を聞くがどうか。

答

介護保険制度は、年度ごとに改正になる場合もある。内容を注視しながら、介護保険財政の健全な運営に努めていく。

討 論

平成 24 年度の一般会計、特別会計および企業会計決算を認定することに対する討論が行われました。その要旨を紹介します。

賛成

加藤眞純議員



町税や国保税の収納率アップが図られたほか、きめ細やかな予算執行がなされ、町民生活の維持向上に努力されていること、

社会的弱者にも温かい心配りをしながら財政健全化にも努められた決算であり、評価する。決算審査の中で、指定管理、業務委託、補助金の透明化と監理のあり方について多くの提案がなされたが、第三者を入れた事業仕分けを実施するべきだと考える。

民間発想の独創的で勇気ある指揮と執行者一人ひとりがコスト意識を持ち、まちづくり^{まいしん}に邁進^{まいしん}されますことを期待し、賛成する。

反対

西田征洋議員



ここ数年の地方債の償還のやり方では、災害が起きたりして不意の出費に迫られると財政的困難に突き当たってしまうことを指摘してきた。

町道の除雪の審査では、発注元である町が収支決算などを求めていなかったことが明らかになった。また、現実に利用されている住宅リフォーム助成事業をやめてしまったことに対し、復活を求めたが、事業効果を認めながらも拒否されたことは、町民要求には冷たい一面を見た。

高校までの医療費助成も否定された。さらなる町民生活の改善に取り組むことを求め、反対する。

町当局に4項目の意見を提言

意見

1

二次交通を含めて公共交通体系見直しの検討委員会を立ち上げるべき。



意見

2

合併浄化槽維持管理補助金申請は毎年ではなく一回とし、以後自動更新にしては。



意見

3

太陽光クリーンエネルギー導入事業への補償額を上げるべき。



意見

4

防災ダム、砂防ダム、川床等の土砂、流木などの堆積物を処理すべき。



監査意見



意見を述べる
枇杷代表監査委員

監査委員による決算審査は、公営企業会計6月28日、一般会計並びに各特別会計、基金運用状況、財産調書は7月17日から8月12日まで行われました。決算審査意見書の中から、一般会計について内容を要約してお知らせします。

決算意見書

歳入において、町税を主とする自主財源は32.8%を占め、前年度と比較し1.8%増加している。自主財源増加の主なもの町税

5,606万6千円の増である。自主財源は自治体の自主性、自立性を表すものであり、今後ともその確保に努められたい。

また、歳出における町債は、元金償還額が発行額を6,518万1千円上回った結果、平成24年度末残高は67億2,318万8千円に減少した。

なお、今後も限られた財政の中で、事業の選択と集中により住民福祉の向上に寄与されるように望む。

平成25年第7回雫石町議会9月定例会 議決結果等一覧 会期：9月6日(金)～9月20日(金)

議案番号	議員名 議案名	田屋館愛子	幅秀哉	岩持清美	山崎留美子	加藤真純	杉澤敏明	川口一男	前田隆雄	西田征洋	谷地善和	村田厚生	田中栄一	大村昭東	上野三四二	坂下栄一	坊屋鋪俊一	平子忠雄	煙山惣右衛門	石亀貢	採決結果
議案第1号	雫石町子ども・子育て会議条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第2号	雫石町工場等設置奨励条例の一部改正について	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第3号	平成25年度雫石町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第4号	平成25年度雫石町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第5号	平成25年度雫石町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第6号	平成25年度雫石町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第7号	平成25年度雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第8号	平成25年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第9号	盛岡地区広域消防組合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第10号	雫石・滝沢環境組合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第11号	盛岡地区衛生処理組合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第12号	静岡県富士市との友好都市提携について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第13号	平成25年度雫石町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第14号	平成25年度雫石町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第15号	平成25年度雫石町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第16号	平成25年度雫石町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
議案第17号	雫石町役場庁舎太陽光発電設備等設置工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	●	○	○	●	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
認定第1号	平成24年度雫石町一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	欠	●	認定
認定第2号	平成24年度雫石町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	認定
認定第3号	平成24年度雫石町御明神財産区特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	欠	●	認定
認定第4号	平成24年度雫石町下水道事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	認定
認定第5号	平成24年度雫石町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	認定
認定第6号	平成24年度雫石町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	認定
認定第7号	平成24年度雫石町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	認定
認定第8号	平成24年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	認定
認定第9号	平成24年度雫石町立雫石診療所特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	認定
認定第10号	平成24年度雫石町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	認定
認定第11号	平成24年度雫石町水道事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	認定
発議第1号	私学教育の充実・発展を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
発議第2号	「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決

○…賛成、●…反対 欠…欠席 ※猿子議長は採決には加わりません。

臨時会

○平成25年第4回雫石町議会臨時会（7月22日）

一般会計補正予算（第3号）等を可決し、雫石中学校耐震改修工事の請負契約締結案（契約金額2億2,050万円）は、当該建設業者との契約締結に反対する意見などが出され、否決としました。

○平成25年第5回雫石町議会臨時会（8月12日）

一般会計補正予算（第4号）の専決処分を承認したほか、雫石中学校耐震改修工事の請負契約締結案（請負者：株式会社 佐々木組盛岡支店、契約額：2億1,945万円）を可決しました。

○平成25年第6回雫石町議会臨時会（8月26日）

一般会計補正予算（第5号）などの専決処分を承認したほか、一般会計補正予算（第6号）および豪雨災害対策調査特別委員会の設置を可決しました。

○平成25年第8回雫石町議会臨時会（10月15日）

一般会計補正予算（第9号）のほか、復興整備課を新たに設置する条例案などを可決しました。

平成25年雫石町議会臨時会 議決結果等一覧

	議案番号	議案名	議員名	田屋館愛子	幅秀哉	岩持清美	山崎留美子	加藤真純	杉澤敏明	川口一男	前田隆雄	西田征洋	谷地善和	村田厚生	田中栄一	大村昭東	上野三四二	坂下栄一	坊屋鋪俊一	平子忠雄	煙山惣右衛門	石亀貢	採決結果
第4回	議案第1号	平成25年度雫石町一般会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
	議案第2号	町立雫石中学校耐震改修工事の請負契約の締結		○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	欠	○	否決
	議案第3号	財産の取得		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
第5回	承認第1号	平成25年度雫石町一般会計補正予算（第4号）の専決処分の承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	承認
	承認第1号	町立雫石中学校耐震改修工事の請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
第6回	承認第1号	平成25年度雫石町一般会計補正予算（第5号）の専決処分の承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	承認
	承認第2号	平成25年度雫石町下水道事業特別会計補正予算（第1号）の専決処分の承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	承認
	承認第3号	平成25年度雫石町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）の専決処分の承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
	承認第4号	平成25年度雫石町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）の専決処分の承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	承認
	承認第5号	平成25年度雫石町水道事業特別会計補正予算（第1号）の専決処分の承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	承認
	議案第1号	平成25年度雫石町一般会計補正予算（第6号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
	発議第1号	豪雨災害対策調査特別委員会の設置		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
第7回	議案第1号	雫石町課設置条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第2号	農地及び農業用施設に係る災害復旧並びに災害防止事業分担金条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第3号	平成25年度雫石町一般会計補正予算（第9号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成、●…反対 欠…欠席 ※猿子議長は採決には加わりません。

委員会の構成が変わりました

平成 25 年 8 月 8 日より、常任委員会等の所属替えがありましたので、お知らせいたします。

雫石町議会 委員会等名簿

◇常任委員会

平成 25 年 8 月 8 日構成

	総務常任委員会	教育民生常任委員会	産業建設常任委員会
委員長	前 田 隆 雄	加 藤 眞 純	村 田 厚 生
副委員長	幅 秀 哉	杉 澤 敏 明	岩 持 清 美
委員	平 子 忠 雄	石 亀 貢	坂 下 栄 一
委員	大 村 昭 東	坊屋鋪 俊 一	上 野 三四二
委員	谷 地 善 和	田 中 栄 一	川 口 一 男
委員		西 田 征 洋	山 崎 留美子
委員		田屋館 愛 子	

◇議会運営委員会

委員長	坂 下 栄 一
副委員長	谷 地 善 和
委員	石 亀 貢
委員	村 田 厚 生
委員	前 田 隆 雄
委員	杉 澤 敏 明
委員	加 藤 眞 純

平成 25 年 8 月 8 日構成

◇議会広報編集特別委員会

委員長	杉 澤 敏 明
副委員長	山 崎 留美子
委員	前 田 隆 雄
委員	加 藤 眞 純
委員	岩 持 清 美
委員	幅 秀 哉
委員	田屋館 愛 子

平成 25 年 8 月 8 日構成



謹んで哀悼の誠を捧げます

煙山惣右衛門議員（享年 69 歳）が 10 月 5 日急逝されました。
葬儀は、町議会と煙山家の合同葬として 8 日、廣養寺でしめやかに営まれました。

故煙山氏は、昭和 62 年に町議会議員に当選されて以来、現在に至るまで 7 期連続当選、平成 11 年と平成 19 年には副議長も務められ、26 年の長きにわたり住民福祉の向上と町勢発展のためご尽力されました。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

FMラジオがあったら、話したい人が「おらの所のカボチャは美味しいよ！」と各行政区から出てきそう…。子育て会議や介護会議もできるかも。まだハードルが高そうだなあ～。

チョット
ひとりごと



質問者／
やまざき る み こ
山崎留美子 議員

防災ラジオの配布で緊急情報の周知を

町長／各家庭まで情報が届く方法を講じたい

問 現状の防災行政無線は聞き取りにくいという声が以前からかなりあったが、8月9日の大雨災害後、防災ラジオ等に関するアンケートを緊急的に配布したのはなぜか。着手が遅いのではないか。

町長 区長配布として依頼したのは8日である。今年4月から無線の放送内容を携帯端末で確認できるサービスの情報発信を開始し、伝達手段の強化と多様化を図ってきている。全国的事例や一般質問等での経緯を踏まえ、防災ラジオの有償配布の方向性を決定した。

問 有償配布を前提としラジオの台数によって異なる価格を提示しているが、アンケートでは無償配布等の選択肢がなくバランスを欠いている。同様のケースで一関市は無償としているが検討はしたのか。

防災課長 そういう自治体もあるが、その場合は戸別受信機的なものだと理解しており、防災ラジオは一般放送を受信しながら緊急時の放送を聞けるので町民益はあると考え、有償配布として進めた。

問 「聞き取りにくい」という声の解消策として区長や防災委員等の方へ配布した戸別受信機は263台だが、その価格と活用件数の把握は。

防災課長 1台約4万円で事業費として約1,078万円。事業効果の確認はしていないが、必要な情報は伝わっていると思っている。

問 町から伝える情報は一部の方のみに対してのものではなく、普通に暮らす方たちに丁寧に周知していくべきではないか。

町長 防災無線を完全に網羅することは不可能と認識している。条件が様々あり、完璧な状況での提供は困難だが、これは第一段階と捉え今後こういう状態を想定しながら装備を講じていきたい。

問 以前伺ったコミュニティーFM開設の検討は。

町長 現段階では考えていないが、まずは防災ラジオの配布で各家庭の受信率を上げていきたい。



有償配付となる防災ラジオ

今一番求められているのは、
どの課題でも現場の声を聞いて住ん
でいる人達が納得できるやり方を追
求して行く努力をすることだと思う。

チヨット

ひとりこと



質問者／
にしだまさひろ
西田征洋 議員

豪雨被害、町民の要望に沿った救済を

町長／町挙げて最大限の努力を傾ける

問 今回の災害で以前から指摘されてきた問題点のはっきり出て被害が拡大したことは、人災という面もあると思う。例えば橋場、小赤沢地域の竜川流域の堤防築堤等治水対策が百年以上手をつけられていない。また各地の浸水域の拡大と農業用水路との関連が指摘されている。以前から降雨で危険と言われている箇所がより大きな被害を受けているが、これらは地域住民の要望がいままで反映されてこなかった典型であり、これをどう認識しているか。

町長 橋場、小赤沢流域は岩手県管理となっているが、最も重要な治水対策箇所と認識しており、県に対して早期の河川改修を要求して行く。農業用水路と排水路は国と県の基準によりつくられるものだが、現在の基準では災害を防ぎ切れない気象現象があったことで国や県に改善を働きかけて行く。

横欠道路の一部一方通行化は

問 上野沢行政区への通行確保は横欠からの町道と林道を利用しての一部一方通行とする整備が実現性が高いという声がある。

町長 横欠線は、整備するが冬期に不安があり、町道上野沢線を一車線分今年度中に確保したい。

税等の減免の周知、もっと工夫を

問 被害を受けた行政区単位で、できれば総合窓口的な説明会を設けるべきでは。

町長 行政区単位の説明会ではなく広報しずくいしの号外発行や他にも手だてをとって周知の徹底を図っている。

農業被害の町独自の救済手広く

問 町が独自で農業被害を補償する事を評価する。生産組織等とも相談し手広くやってほしい。

町長 なるべく早く補填^{ほてん}の範囲を示したい。



大雨により土砂が流入した田んぼ（小赤沢地区）



質問者／
はば ひで や
幅 秀哉 議員

千年に一度、百年に一度がたびたび
起こる。今後はそれが当たり前の災
害となる地球になったんだなあ。

チョット
ひとりごと

災害時の初動体制は

町長／町地域防災計画に沿って迅速に対処

問 3.11 災害の教訓を生かし、防災・減災に努めているなかで今回の激甚災害が発生した。災害発生時の初動体制は。

町長 町地域防災計画に沿って、当日 8 時 45 分に災害警戒本部を設置、10 時 45 分に災害対策本部に切り替え対処した。対策本部会議にて情報収集に努め、応急対応、避難所開設、自衛隊災害派遣要請し、孤立地区解消・住民の安否確認に全力を注いだ。

災害の復興とプロジェクトの推進を どうするか

問 激甚災害の救済処置、復興対策に迅速に取り組み、町民の安全安心につなげなければならない。一方総合プロジェクトも推進しなければ町の未来へ展望が開けない。どのように取り組むのか。

町長 7つのプロジェクトのうち、雫石型自然環境創造、医療福祉ネットワーク強化、町有地 14 ヘクタール活用の各プロジェクトを進めている。今後も災害復興に係る事業を進めながら、総合プロジェクト取り組みも遅れることなく進める。



現在も設置されている災害対策本部

指定管理と業務委託の区分根拠と 町の関わりは

問 現在 500 を超える、業務委託と指定管理の、区分の明確な根拠と、町との関わりはどのようになっているか。

町長 指定管理者制度は、「公の施設の管理について民間事業者等の団体を主体とすることによる、住民サービスの向上や経費節減」を目的に地方自治体法の改正によって創設された制度。町では、25 の施設で指定管理者制度を導入している。業務委託は「町が直接執行するよりも民間が実施する方が、専門性、先駆性、費用対効果が高いかどうかの観点から、対等な契約関係により決定」している。委託業者は、契約で定められた内容を信義にしたがい誠実に履行する義務がある。また、町には委託業務に関して責任と成果が帰属する。

指定管理者と町との関わりは、必要に応じて指示、指導を行い、適正な管理運営に努めている。業務委託に関しては、契約に従って、進捗管理、打合せを行いながら確実な業務執行の確保に努めている。

■他にこんな質問もしました

- 防災無線による情報提供は十分か
- 町産材の利用はどの程度まで考えてる

30年に1度の異常気象が
全国で1カ月に10回。
本当に異常だ。

チヨット
ひとりこと



質問者／
岩持清美 議員
いわもちきよみ

豪雨災害の被害額は

町長／
66億1千万円以上と推計

問 被害の概要は。

町長 9月8日時点における被害状況は、道路、土木施設関係が325件、土砂災害関係103件、農林業施設関係が2,087件、農産物の被害面積962ha、上下水道施設103件の他62件、住家・非住家の被害744件、推計被害額66億1,690万円の推計となる。

問 町道上野沢線の復旧は。

町長 被害状況は、2,000mの全面通行止め区間のうち道路が完全に流出している箇所もあるが、年度内に1車線確保できるよう応急で対応したい。全面復旧は災害査定を受けて、早期復旧に努める。

問 被災農地の復旧は。

町長 農業用施設の被害状況は、1,933カ所、被害額は28億1,320万円と推計しており、復旧費40万円以上は

国の補助を受けて町が工事を実施、40万円未満については国の補助率と同率を町単独補助として進める。

問 野菜、花卉被害農家へは。

町長 農業経営の継続と農家の生産意欲の持続に向け、農業共済制度の対象とならない被災農作物減収の一部を補填したい。農家の皆さんに早くお示しできるよう具体策を構築していく。

問 町管理河川の復旧は。

町長 河川被害は、22河川、73件、146ヶ所で、護岸欠壊や、河川が土砂で埋まっており、災害発生年を含めて3カ年度以内の復旧となる。今後的大雨により、人家等に影響のある箇所など緊急度の高い河川から早期復旧に努める。



土砂が流入したビニールハウス（大村地区）

■他にこんな質問もしました

- 町道の主な路線の復旧は
- 国、県管理河川の要望は

自己負担額が多くなれば災害復旧事業を行わない農家もでてく
ると思われる。町の農地施策も
問われることになるだろう。

チョット
ひとりごと



質問者／
すぎさわとしあき
杉澤敏明 議員

今後の復旧・復興対策は

町長／小規模災害等は町単独事業を検討

問 今後の復旧・復興対策の取り組み予定は。

町長 災害復旧に関する国・県の制度を最大限に活用し、関係機関と連携しながら取り組みを進めていく。小規模な災害等国や県の制度に該当しないものについては、町単独事業による対応を検討する。

問 農地等災害の復旧に当たっては、農家の自己負担が生じないように町の財源を投入できないか。

町長 自己負担は当然制度的にあり、町の財源をどこまで投入すればいいのかということを検討していく。

問 住家全壊等により帰宅困難な世帯の生活再建支援をどう考えているか。

町長 県と連携を図り、国の被災者生活再建支援制度に準じた制度を構築し、支援していく。町単独事業として、災害見舞金を支給する。



流失した矢櫃橋

問 矢櫃川や九十九沢川流域の農地には、大量の巨木や石、土砂が堆積した。川の流れや地形が変わった所もある。各農家の希望も取り入れた復旧・復興対策事業をしてもらいたい。

町長 農地等の災害復旧事業のみでは災害以前の姿に戻すことは容易ではなく、河川の災害復旧と合わせて復旧していく必要がある。それぞれの河川の災害復旧の見通しが立った際に、河川周辺に農地を所有する農家と河川管理者との意見交換の場などを通じて効果的な農地と河川の復旧につなげたい。

小学校適正配置の取り組み状況は

問 統合準備委員会の設置はいつ頃になるか。

教育委員長 今年度中に学校区単位での説明会を行い、地域住民の皆様理解いただくとともに意見、要望を把握し、課題解決に取り組む。その後、平成26年度には各地区における準備委員会を設置し、統合に当たっての諸課題に取り組んでいきたい。

■他にこんな質問もしました

- 矢櫃砂防ダムの機能は十分に果たされたか
- 揚水ポンプの復旧について
- 川底に堆積した土砂の撤去について

復旧、復興も
稲刈りも忙しい。

チヨット

ひとりこと



質問者／
まえだ たかお
前田隆雄 議員

復旧・復興には迅速な対応を

町長／緊急要望を行った

問 復旧・復興には素早い対応が必要と考える。しかし災害査定が10月中旬から11月上旬、工事着手がその後というのはあまりにもスピード感に欠ける。一般的な行政の執行とは事情が違う。国、県にもっと迅速な対応をしてもらうようすべきだ。

町長 8月13、14日の両日に、内閣府ならびに国土交通省の調査団が来町した際、早急に当町に関わる激甚災害指定と必要な財源措置について緊急要望を行った。

公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法に基づき災害発生から原則2ヶ月後に災害査定が実施され、その後工事着手となる。

問 本県は3.11の影響で沿岸に多くの建設業者が集中しているが、当町の復旧・復興工事に着手する場合、そのような専門業者が対応できるか不安がある。

町長 専門的な技術者の不足、原材料の単価の上昇などさまざまな要因が災害復旧工事に影響を与えていると思われる。発注規模を拡大したり、設計内容の組み替えや、現場代理人の兼務など諸条件を検討し、柔軟に対応できる環境を整えていく。

今後の町政執行は

問 これまでの取り組みと、今後の進め方について伺いたい。

町長 町民に宣言・約束した政策・施策の内容については、第二次雫石町総合計画前期基本計画及び個別の分野別計画に分類、整理し反映させている。重要な施策については、町の重要事業として掲げ、環境・教育・福祉・産業振興・防災それぞれの分野において、その施策の推進に努める。



災害現地調査の様子（大村地区）

ボランティア支援など
多くの応援あるなか
傍らでは夏まつり、
ちょっと、共助ってなに？

チョット
ひとりごと



質問者／
うわのみよじ
上野三四二 議員

災害復旧、復興には窓口統一を

副町長／一括できる組織体制を検討中

問 雫石史上最悪の被害となった。被害総額は積算でどのくらいか。また、復旧復興対策は各課バラバラの縦割りだけでは復旧が進まない。総合窓口で統一し、専門対応の体制整備が必要でないか。

町長 9月4日現在、国の災害対象になる被害は河川74件、148カ所道路、橋梁42件79カ所、被害額約34億円。農林業関係では9月9日までの確認で農地・施設関係で1,933カ所、被害額約28億1,319万円。林業関係154カ所、3億4,000万円。農作物962ha、2億7,082万円。現在も被害調査中であり被害額は増える。また国有林、県、国土交通省などの管轄の被害は調査中と聞いている。

副町長 調整を図り地域整備課の工事、農林課の工事ではなく一括でできないか現在検討をしている。体制を組み早い時期に示したい。

自己負担軽減のため、支援要請を

問 全被害に適用措置がなされるか、町の財政負担、被害者の自己負担が軽減されるか心配だ。さらに被害状況や復旧計画を精査し国、県に支援要請をするべきではないか。

町長 激甚災害指定を受けたことによって国庫負担率がかさ上げされ財政措置が講じられるが、国や県に対し人的支援、技術的支援を要請して行く。

緊急復旧、査定を待たず前倒ししてでも急げ

問 被災住民の生活回復のため、応急仮設工事や復旧作業を急ぐべき。

町長 緊急の仮設工事や前倒し復旧作業の見通しは、町道190カ所を超えており、豪雨直後に幹線路線6カ所、その他20カ所の通行止め、土砂崩れなど30カ所の応急復旧を実施した。



被災箇所の確認にあたる職員

質問していることに
答えていない。
誠意をもって
正確に答えるべし。

チョット
ひとりこと



質問者／
大村昭東 議員
おおむらしやうとう

8・9豪雨災害の復興計画は

町長／計画は作らず個別に対応

問 町防災計画に基づいて、被害地全体と竜川流域、上野沢川流域、矢櫃川・九十九沢川流域の復旧、復興計画を作るのか、そのスケジュールは。

副町長 地域ごとの復興計画を作ることは考えていない。個別に対応する。

問 防災計画に掲げていない西安庭の長野、中町、下町、長根の災害危険区域の救済はどうするのか。

副町長 崖地帯については、町として支援が可能かどうか検討したいと思う。

問 今回の豪雨災害の教訓として、赤渕から上野沢までの林道規格の補完道路を早急に整備すべし、住民の声である。

町長 上野沢の冬の生活安全確保に集中している。その後だと思っている。



がけ地の被災箇所にも救済が必要

全国学力テスト結果は

問 全国学力テストの結果を、本町の学校教育にどう活かすのか。

教育委員長 本町小学校の国語B、算数A・Bが全国平均を下回っている。特に国語の活用力、応用力が全国に比較して4.7ポイント下回っている。中学校では数学A・Bが全国平均との差が大きく、今後の課題であり、教員の授業力向上と家庭学習の習慣化に取り組む。

町づくり資源の管理活用は

問 町有財産や、雫石盆地の景観、国指定名勝地七ツ森と狼森のイーハトーブ風景地、県指定の史跡生森と高前田の一里塚など、まちづくり、教育振興、観光振興等に役立てることができる資源をどのように管理し活用しているか。

町長 行政財産はそれぞれの担当課が管理しているが、普通財産には未利用の物もある。

人口激減対策は

問 本町の人口は、平成25年4月1日現在で17,490人、2040年に11,254人、2055年には7,863人となる推計があるが、近い将来本町は自主独立できるか。

町長 定住対策を進め、可能なかぎり人口減少を緩やかなものにしたい。

他にこんな質問もしました

- ・小中学生の学力向上、人格形成のための食育、学校給食改善について



議会へのひとこと ——皆さんの声を聞きました



みなみの たけし
南野 健さん
(49歳・南行政区)

一刻も早い 復旧対応を

今年8月9日は、かつて経験したことのないほどの豪雨により、河川や用水路が氾濫し、住宅・道路・農地・農業施設等に甚大な被害をもたらしました。

この被害復旧に要する時間は、数年に及ぶと聞いております。

もちろん、町民生活に密着した道路、ライフラインの復旧は最優先となるべきですが、農地の流出や土石の流入・水田畦畔^{けいはん}の崩落等についても被害農家にとってまさに生活に直結した大問題であり、次年度の生産活動が十分行なえるように支援を含めた迅速な復旧対応が必要であると思います。

復旧期間が長期に渡る以上、優先すべき復旧内容が何であるかを段階的に的確に判断され、一刻も早い復旧対応をお願いしたいと思います。

また、単に現状維持の復旧対応ではなく、被害の常発箇所や危険性の高い所は強化するなど、今回の災害を踏まえた一歩前進のある復旧対応を是非ともお願いしたいと思います。



たかはし
高橋 トワ子さん
(50歳・籬野行政区)

子どもたちの育成を 町ぐるみで

子どもを就学させ6年ほどになります。

私が小学生だった40年前にはなかった「早寝・早起き・朝ご飯運動」など、生活に関わることに学校が取り組んでいる現状に驚いています。

乳幼児期、添い寝をする親はどれほどいるのでしょうか。朝ご飯は菓子パンという子どももいると聞きます。「三つ子の魂百まで…」大切な乳幼児期、就学前から子育てで応援に取り組み、将来を担う大切な子どもたちの育成を町ぐるみで支援して頂きたいと思います。

母乳育児推進のために助産師を招き無料で乳房マッサージを受けられるとか、食品添加物の発癌性、神経錯乱性、アレルギー性などに関する勉強会や、食育、躾^{しつけ}など基本的な生活に関すること、家事の手抜き方や夫婦が仲良くいられる心理学等、多岐にわたる妊婦教育の開催をしてはどうでしょうか。そして参加した際には、例えばオムツ交換券を発行するなど、育児手当のみならず物的、人的援助をし、お母さんが子育てに専念できて子どもが安らぎを感じながら育つように、もっと手厚く支援していく環境づくりが、少子化時代だからこそ必要ではないでしょうか。

以上、主婦の視点からの意見も一端において頂き、さらなる議会活動を期待しております。



たかはし みつお
高橋 三雄さん
(45歳・中町一行政区)

雫石町民議会の思い出

8年ほど前になりますが、「雫石町民議会」というものがあり、老人クラブや町婦協、町青連、中高生などが参加して、議長役と議員役をして町民議会を開きました。

私は商工会に所属しています。以前は商工会の青年部にも入っていて、そこで町青連（農協、農振クラブ、役場、商工会の各青年部）の代表として町民議会での一般質問をさせていただける機会がありました。

議場に着いて、普段は議員が座る席に着いて前を見ると町長や教育長、各課の課長が座っていて、後ろを見ると傍聴席には議員の皆さんが座っていました。議場は普段とは全く違う所で、一般質問する場所に立った時にはとても緊張したのを覚えています。

私は、二つの質問をしましたが、答弁は町長、教育長が丁寧に答えて下さり、とても良い経験ができました。中学生や高校生も同じだったと考えています。

またこのようなことをやって頂きたいし、小学校や中学校などで授業の一環としてやってもらえれば、議会や政治への関心が高まるのではないのでしょうか。

在京雫石町友会 会員 ^{さいとう} 齋藤 ^{よしゆき} 至幸さん



雫石から始まっていた、三菱との不思議なご縁

小学5年の秋、父の転勤で宮城県の花山村から雫石町に移り住むことになった。父は営林署勤務で、住まいは雫石駅南側にあった官舎である。当時、学校が終わった後は一目散に雫石川に魚取りに行った。ヤスでカジカやハヤを突いたり、つかみ取りや釣もよくやった。他に、小岩井農場や途中の七ツ森にも四季折々よく遊びに行った。春はゼンマイなど山菜採り、夏は駅前地区の同級生と連れ立ってサイクリングとか、秋にはハツタケとかキノコ採りにもよく行った。冬場は七ツ森で夕暮れまでスキーに興じた。川や野山をひたすら駆け巡り多感な時期を過ごした雫石は、まさしく自分の故郷そのものである。

高校は盛岡一高に進んだ。一高の校章は^{ひし}菱藻単葉三枚のデザイン。大学4年時、就職活動を経て就職先を三菱銀行に絞ったが、三菱のスリーダイヤの社章が一高の校章によく似ていて親近感があり、決め手の一つになったことを思い出す。

銀行に入り、4場所目に本部の情報開発室に配属されたが、ここは三菱初代当主岩崎彌

太郎氏の直系曾孫寛彌氏が始めた部署だった。寛彌氏にはOBと現役室員が一堂に集まる機会にご指導を頂いた。雲の上の人であり、ひたすら緊張していたことを思い出す。

いまは銀行を卒業し、現金を集配する会社で営業を担当しているが、三菱地所で情報開発室時代にお世話になった方から「小岩井農場を紹介しようか？」と声を掛けられ、実に40数年ぶりに小岩井農場を訪れることになった。

応接室に通されて思いがけずに驚かされた。ここで寛彌氏がよくワイン片手に瞑想にふけていたとの説明を受けた途端、何とも言いようのない感動に包まれた。本当に雫石時代に遊びに来ていた場所だよねと、ほっぺたをつねりたい気分になった。

小岩井農場は、三菱の企業というよりは岩崎家の企業であり、牧場である。今回、小岩井農場訪問に水を向けてくれた三菱地所の親交のある方は、何と初代農場長赤星陸治氏の直系のお孫さんであった！まったくもって不思議な縁である。



雫石小学校航空写真
(1964 東京オリンピック記念)



小岩井農場で
(左から母、妹、筆者)



盛岡一高時代
官舎前で両親と

齋藤 至幸さんプロフィール

昭和26年生まれ。雫石小学校—雫石中学校—盛岡一高—茨城大学を卒業。

昭和50年三菱銀行（現三菱東京UFJ銀行）入行、主な職歴は西早稲田支店（副支店長）、日暮里支店（副支店長）、プロジェクト推進室（副室長）、代々木上原支店（支店長）を歴任。

平成20年株式会社アサヒセキュリティ入社、現在開発本部長。

趣味：釣り（最近は特に淡水タナゴ釣り）

雫石町へようこそ

お嫁さん

お婿さん



旅行先のパラオでのディナークルーズにて
(中央右は本人、左は妻の慶)

ご縁があり、町外から迎えられた
「お婿さん」

長坂 ^{あきら} 聖さん（32歳 盛岡市長田町出身）
（旧姓：西川、下町3行政区在住）

Q- お二人の馴れ初めは？

- 友人を通じて、飲み会の席で出会いました。

Q- 雫石町に暮らしてみているいかがですか？

- のどかで静かで落ち着く場所。

周りの人達が明るい人ばかりで楽しいです。

Q- 町へ望むことは？

- 子どもが少ない世の中なので、子どもを安心して産み育てていける環境作り、子育て支援の充実に力を入れていただきたいと思います。

議会の主な動き 8～10月

8月	1日 第71回国民体育大会岩手県準備委員会第7回総会	10日 土橋幸男氏古希を祝う会	6日 第27回町民音楽祭
	2日 第39回町小学校水泳記録会	13日 政務調査会	議会広報特別委員会
	6日 市町村要望	15日 第48回壮年ソフトボール中央大会・第12回ふれあい女性ソフトボール大会	15日 政務調査会
	9日 町出身県職員と町幹部職員の情報交換会	中華航空・台湾旅行エージェンツ歓迎レセプション	16～17日 2013火山砂防フォーラム
	15日 政務調査会	16日 敬老会	17日 議会広報編集特別委員会
22～23日	平成25年度県町村議会議長会中央研修会	25日 岩手郡町村議会議長会県内実行運動	18日 第13回滝沢村・雫石町G・G交流大会 開会式
	27日 岩手郡町村議会議長会県内実行運動	27日 秋の交通安全のぼりロード大作戦	19～20日 しずくいし産業まつり
30日	平成25年度町戦没者追悼式	27日 県町村議会議長会第2回定例理事会・臨時議会・政務調査会	22日 盛岡地区広域消防組合議会定例会
9月	2日 第51回知事を囲む懇談会	28日 平成25年度雫中祭	25日 県町村議会議長会第4回委員長研修会
	4日 フラワー＆ガーデン森の風新設工事 起工式	29日 西根小学校140周年記念記念式典・祝賀会	26日 第19回町民グラウンド・ゴルフ大会
6～20日	9月定例会開会	2～3日 郡町村議会議長会中央実行運動	安庭小学校創立140周年記念式典・祝賀会
	7日 第42回雫石町民相撲大会	5日 第42回町スポーツ少年団秋季	28日 盛岡地区衛生処理組合例月出納検査
	第42回雫石町OB野球大会		29～30日 議会広報先進地視察（宮城県利府町・丸森町）

情報公開

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳（7月～9月）】

月	葬祭費	お祝い、会費
7	0件 ー円	4件 15,000円
8	0件 ー円	2件 25,000円
9	0件 ー円	4件 26,000円
小計	0件 ー円	10件 66,000円
累計(1月～9月)	0件 ー円	38件 174,800円

■編集デスク

8月9日の豪雨ならびに台風18号により被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

豪雨による被害推計額は、66億円余りと甚大なものとなっています。当議会では、豪雨災害対策調査特別委員会を設置し、復旧・復興対策に取り組んでいます。

復旧・復興に係る補正予算も2回の専決処分を承認したほか、3回の提案があり、臨時議会（1回は定例会）で審議・可決しています。また、7月22日の臨時議会では、任期後半の各常任委員等の選任を行いました。9月定例会では、平成24年度決算を徹底審議のうえ、認定しました。

この87号には、以上の内容を始め、すべての情報を分かりやすく掲載するよう努めましたので、ご一読いただければ幸いです。

（編集委員長 杉澤敏明）

●今号の表紙／本誌の表紙は、「まちの笑顔」シリーズでお届けいたしております。